

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地の二情報 2019.3.5 No.344 東京・羽村平和委員会発行



横田オスプレイ 3月、基地周辺を飛行 土曜も



2月4日に横田基地を離陸し、2月24日に横田基地に戻ってきたオスプレイ。3月2日は土曜日なのに離陸、着陸を繰り返しました。2月2日も土曜日でしたが飛行していました。

横田基地のオスプレイの離陸、着陸時間の日報を月報にした時、土曜日曜は調査をしないといっていました。その後2月も3月も土曜に飛行したのです。

去年は土曜、日曜はほとんど飛行していなかったのに、調査をしないことにしたら、飛行するなんておかしいですね。

しばらくタイの演習に参加していた横田所属のオスプレイ

2月4日、横田基地を離陸した横田オスプレイ4機は、岩国基地、嘉手納基地を経て、5日にはベトナムのダナン国際空港に着陸。およそ2時間後に離陸しました。給油のためだったようです。

コブラゴールド2019のため、タイに移動、と2月10日の星条旗新聞にのる。

2月14日、タイの部隊を乗せ、CV22によるパラシュート降下訓練、0067、0071による。写真2枚。

2月18日にCV22が揚陸艦グリーンベイで離着陸訓練の記事が20日にのる。

2月23日、嘉手納基地に。2月24日、岩国基地を経て、横田基地へ。



辺野古埋立て反対

横田座り込み 沖縄に連帯

沖縄県民投票では、辺野古埋立てるなの民意がはっきり示されました。横田基地の座り込み参加者一同の連帯の気持を東京平和委員会の方に届てもらいました。

- 裏面には、東京民報紙に掲載された、変質する横田基地の1と2を貼付けました。3と4は次回です。



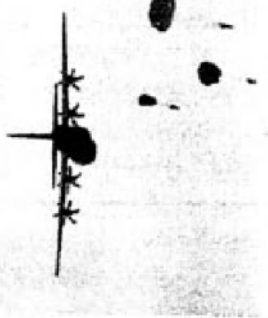
繰り返される落下傘訓練

変質する横田基地①

2019年の横田基地の新年は、2月4日の日曜日にパラシュート降下訓練反対の緊急集会を呼びかけました。詳細は東京民報1月20号を覧ください。今年に限らず横田基地では毎年1月から、年間数万人規模のパラシュート降下訓練が行われてきました。訓練部隊は沖縄の陸・空軍、海兵隊です。パラシュート訓練は敵地への侵入等に欠かせない訓練なのです。

今から7年前となる2012年1月10日、パラシュート降下は劇的に開始されました。「箱と砂袋」の降下という防衛省北関東防衛局の情報提供に反して、アラスカからの特殊作戦部隊100人が、横田基地上空をパラシュートで覆ったのです。まるで戦場でした。しかも、続く11日、12日も訓練は続けられたのです。

2015年1月には5日から9日まで延べ150人が訓練するという情報提供が年末にありました。「新年早々から



横田基地上空でのパラシュート訓練。1月15日、羽村平和委員会提供

冗談じゃない」と、1月4日の日曜日にパラシュート降下訓練反対の緊急集会を呼びかけました。瑞穂町の公園には200人が参加しました。集会の効果か、降下人数は27人でした。

2017年1月は、延べ53人が降下予定と情報提供しながら、なんと127人の降下が目撃されました。市民の監視行動は、夜は困難です。全て見ることはできません。米軍から実際の人数を聞き出したいもので

す。そして今年1月は、8日から11日まで延べ200人の降下予定と情報提供。14日から17日まで延べ150人から200人の降下予定と大規模でした。

8日と9日のパラシュート事故は、昨年4月10日に羽村第三中学校に補助パラシュートの誘導傘が落下した事故と同様の事故で、9日の事故の誘導傘は行方不明です。14日(成人の日)から17日まで私たちが目撃したのは124人の降下でした。後日、米軍ホームページには夜間訓練の写真もあり、さらに大規模だったことが分かりました。

現在、沖縄の伊江補助飛行場では日米合意でパラシュート訓練が行われていますが、横田基地でこれほど激しく危険な訓練が行われている根拠は何なのか、問われています。(横田基地の撤去を求める西多摩の会代表・高橋美枝子)

危険なCV22オスプレイ

変質する横田基地②

首都に広大な米軍基地があるのは日本だけ。異常です。その横田基地に昨年4月5日、特殊作戦機CV22オスプレイ5機が、突然前倒しで飞来し、10月1日に正式配備されました。今後5機が追加配備され、10機体制になる予定です。

CV22はテロや暗殺を行う特殊部隊を世界中に運びます。特殊部隊は2011年、ビンラディンを殺害。2年前は北朝鮮トップの斬首計画を持って、韓国に乗り込みました。これからは、アメリカが標的を定めたら、横田のCV22が動くのでしょうか。そんなことがあつていいのでしょうか。

オスプレイは、危険な欠陥機である上に、CV22は地形追従装置等が装備され、地を這うような危険な飛行をします。だから事故率がとても高いのです。この度、米空軍安全センターが、2018会計年度中の事故率等を明らかにしました。機体に20万ド

ル以上の損害があった等のクラスA事故が2件起きていて、クラスA事故率は昨年度の4.05から5.84に急上昇しました。50万ドル以上の損害のクラスB事故も6件起きており、事故率は42.08になりました。

CV22は33機あると言われています。驚くことに、2018年度までの8年間にクラスB事故が33件起きていました。平均すると8年間で全機が事故を起こしている。こんな危険な米軍機はありません。

CV22の飞来から10カ月、横田基地での離陸・着陸・訓練回数はおよそ1000回。飛行の傾向は、午後4時頃離陸し6時頃戻り、休憩後7時頃離陸し夜9時30分頃帰ってきます。まさに夜間の訓練が主流です。離着陸訓練や超低空のホバリングも行われ、これがかく噂のようにつるさいます。住民から怒りの声が上がっています。

アメリカではどこで訓練をしているのか。米空軍特殊作戦コマンドがあるフロリダ州のハルバートフィールド空軍基地の南側のメキシコ湾で訓練をしているそうです。アメリカではなかなか訓練が許されない。日本政府は訓練に反対しないから、我が物顔に日本中を飛び回っています。私達はあきらめません。オスプレイはアメリカに帰れぬ声を受け続けます。(横田基地の撤去を求める西多摩の会代表・高橋美枝子)



横田基地を飛び立ったCV22オスプレイ。2月2日、羽村平和委員会提供